

ワークショップ「水難救助」WS1-2 海上自衛隊救難飛行艇 US-2 について

松尾勇氣

海上自衛隊 航空集団司令部 衛生幕僚部

水難救助は、国内の河川のみならず広大な海洋においても生起し、患者救命のためには早期発見および速やかな後送が求められ、また、場合によっては潜水病など、後送中の減圧を避けたほうが望ましい場合もある。海上自衛隊が保有する航空機の1つに日本唯一の救難飛行艇 US-2 があり、US-2 には高い離着水能力及び与圧機能がある。よって、患者後送に用いる数ある航空機の1つの選択肢として US-2 が水難救助に寄与できる可能性があることから、これまでの実例を紹介した上、救難飛行艇 US-2 について紹介する。